

進路だより

令和7年度 12月
岐阜県立大垣特別支援学校
進路支援部

高等部 校内作業実習

高等部1年生は、10月20日から10月31日までの2週間、第二回校内作業実習を行いました。今年度2回目ということもあり、1回目の作業を思い出しながら取り組むことができました。地域の企業から提供していただいた商品の検品、袋詰め、梱包等、生徒一人ひとり目標をもって取り組みました。商品の検品をしている生徒からは、「ここが不良品だと思います。」と担当教師と一緒に確認する姿や、「良品10個できました。お願ひします。」と丁寧に報告する姿が見られました。また、袋詰めをしている生徒は、秤で重さを測って確認したり、テープの位置がずれていないかを目視したりすることでミスをしないように作業することができました。梱包作業を行っている生徒は、ダンボールを丁寧に組み立てたり、仲間と声を掛け合い協力して梱包を行ったりしていました。この2週間で自分の強みや改善点を知ることができ、学校や家庭生活での目標も立てました。「働く人になろう」という高等部のスローガンのもと、来年度にある現場実習に向けて学校内外で様々な活動に挑戦していきたいと思います。



高等部 現場実習

高等部2.3年生は、10月20日～10月31日の期間に、本年度2回目の現場実習を実施しました。地域の企業や、福祉作業所で3日から2週間実習をしました。特に3年生は卒業後の進路先として希望する事業所で仕事だけでなく、コミュニケーション面、通勤面においてもそれぞれ目標をもって実習に参加しました。2年生は、自分に合った職場(適正)を探すために、6月の実習とは異なる事業所で実習する生徒がたくさんいました。スーパーでの接客をしたり、工場での立ち作業を頑張ったり、箱折り作業やパソコン入力作業、創作活動等に取り組んだりとたくさんのことを経験してきました。学校職員が実習先へ様子を見に行くと、真剣な表情で作業に取り組んだり、積極的に職場の方に声を掛けたりする姿が見られました。3年生は、卒業後の進路実現に向けて真剣な表情で実習に臨み、周りの方とコミュニケーションをとりながら、それぞれの仕事に取り組みました。12月現在、雇用の意思を示す一般企業からは「指名求人票」を受取り、履歴書や調査書の応募書類を送り、面接の準備をしています。また、卒業後に利用ができると実習評価表に記載していただいた福利事業所については、市町の福利課、相談支援事業所と利用に向けた手続きを進めているところです。それぞれの進路に向けて貴重な体験ができました。学校だけでなく家庭生活でも生かせると良いと思います。



高等部現場実習の様子

おおとばフェスタ販売会

11月21日、22日に「おおとばフェスタ」が開催されました。中学部では「CHUストア」を、高等部では小・中学部の児童生徒や一般のお客様を対象に「作業製品販売会」を開催しました。

当校では共生社会の実現、自立と社会参加に向けて小学部段階からキャリア教育を様々な場面において展開しています。その中でも中学部・高等部で行っている作業学習は「働く」ということに身近な取組みで、自分たちが作った製品を人に買ってもらう喜びを味わい、働く意欲を培うことは特別支援学校の教育における醍醐味の一つです。

小・中学部の児童生徒は、お小遣いを持って「買い物学習」をしながら、高等部の販売会に参加しました。高等部に行ったら、こんな製品を作りたいという近い将来のイメージをもつ経験ができたのではないでしょうか。

21日は開店前からどの作業班の前にも長い列ができ、開店してからもその列が途切れることはありませんでした。いらっしゃいませの掛け声と共に、「これは僕がつくりました。」と製品について説明をする姿が見られました。来場したお客様からは、「すごいね。」「大事に使うね。」などと声を掛けられて、これからのがんばる意欲に繋がったと思います。たくさんのご来場ありがとうございました。



CHUストアの様子

高等部作業販売会の様子

中学部Ⅲ学級 職場体験学習

中学部Ⅲ学級では、地域の事業所での職場体験を通して、生徒自身が「働くとはどういうことか」を体感的に学び、勤労の大切さに気付くことをねらいとした職場体験学習を行っています。また、興味をもった仕事に触れる中で、自分の将来や職業への意識を高め、進路について考える第一歩となるような活動を設定しています。

2年生は、10月14日(火)にまるよし動物病院さんで職場体験を行いました。動物病院では診察の見学や、リクガメのえさやり、ヤモリのケージ掃除など、さまざまな体験をしました。多様な動物と向き合う獣医師さんや看護師さんの飼い主さんへのあたたかな言葉掛けや真摯に対応される姿等から、多くのことを学ぶことができました。実際に働く場に身を置くことで、あいさつの仕方や、気になったことをうまく質問できなかつたことなど、これから課題にも気付くことができました。

1年生は、10月21日(火)松永製作所さんで体験学習を行いました。始めに社長さんから、車いすの製作を通して大切にしている思いについてお話を聞きました。その後、工場内の様々な行程を見学し、材料となるアルミパイプの切断や、図面の作成などの体験をしました。想像以上に工場内は広く、たくさんの方々の協力によって、一台の車いすが作られているということを実感しました。働くことについての意識を高めるよい機会となりました。



2年生は体験に向けた事前学習で、動物病院という場で求められる動物への関わり方や、安全への配慮等、働く姿勢について考え、生徒が自らの「めあて」をもって体験に参加しています。仕事の背景にある思いや責任感に目を向けながら、職場体験に主体的に臨めるように準備しています。

体験後は、感じたことや気づきを丁寧に振り返るため、体験レポートの作成に取り組んでいます。体験前に立てた「めあて」に照らし合わせて、「できしたこと・課題に感じたこと・次に生かしたいこと」をまとめることで、学習を単なる体験に終わらせず、自らの成長につなげる活動にしています。自分の行動をより意識的に見つめ、働くことへの理解を深めるとともに、コミュニケーションや責任感など、今後の学校生活にも生かせる力を育んでいます。

職場体験レポート(1回目 10/14(火))

～動物と人を支える仕事から学ぶこと～ 氏名(石井瑛太)

① 動物に関して学びたいこと

ケガや病気の種類やそれに対する方法を教わった
指にひがみがあったら何が来て、ピッカッピッカ
ニッパーでしていた小さな動物は
極端に血を出さないのがわかった。

② 飼い主や人との関わりから学びたいこと

どのような言葉をかけるのか知りたい
診察中にかかる言葉は明るめだけど
大事なことや今後のことは相手に
伝わるのに正直に伝えていた。

③ 体験を通して自分が成長したいこと

言われたことを早くしていねいにやった
ヤモリの掃除でひるまびにやったことや
先生がちがうことをいねいに教えて
くれたので、ヤモリも一緒に正しくできた。

④ 2回目の体験の際に気をつけたいこと、改めて学びたいと感じたこと

僕はもう声が小さく、周りの人気がききれないことが多いので、職場では
相手に伝わる声にするために声を大きく出すとか言葉題。質問をもう少し
したいので疑問があるからメモをして、聞ける限りで人に聞くみたい。